

ARCHITECTURE OF KITAKYUSHU

～時代で建築をめぐる～



ごあいさつ



北九州市長 北橋 健治

北九州市には、個性的で魅力ある都市景観の創出に貢献する優れた建築が数多くあります。古くから政治や産業、交通の要衝であったことを象徴する、城下町や宿場町の歴史的なまちなみを感じさせる建築、港湾都市として国内外の都市と交流を積み重ねてきた伝統と風格を備えた建築、戦前から戦後にかけて工業都市として日本の経済成長を支え、都市の発展に貢献してきた建築などが、市内のいたるところで見受けられます。

また、近年においては、都市の街並みに新たな色彩を加えるスポーツ、文化、商業施設の建築も生まれています。

建築は、都市の魅力を高めるだけでなく、時代を超えて地域に根付き、人々の暮らしに溶け込み、人々の大切な思い出を呼び起こすツールとして、また、時には建築の歴史やその時代背景に思いを馳せるきっかけとなるものとして、貴重な役割を果たしています。海外においても、フランスでは、芸術の様々な分野の中で「建築」に対する評価が大変高いと言われています。

このような意味において、本市に今なお優れた建築が数多く存在し、大切に受け継がれていることは、かけがえのない「財産」であります。

今年、本市を舞台に「東アジア文化都市 2020 北九州」が開催されます。国内外から多くの人々が本市を訪れ、本市が世界中から注目されます。

この機会に、市内の優れた建築を地域資源として最大限に活かし、我がまちの魅力を世界に向け発信することで、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成、インバウンドの増加を図り、「創造都市・北九州」を推進していく弾みにしたいとの思いで本冊子を作成しました。

これからも本市はSDGs達成による「日本一住みよいまち・北九州市」の実現に向け取り組みとともに、文化・芸術の力を産業振興や地域活性化に活かす創造的なまちづくりを進めてまいります。

結びに、本冊子の製作にあたり、貴重なご意見やご協力をいただきました関係者の皆様に、深く感謝を申し上げます。

令和2年3月

北九州市景観審議会会長 赤川 貴雄

北九州市はその工業都市としてのイメージと裏腹に、自然景観の多様な都市であることは北九州市民が日々感じ、また来訪者も意外に感じるのではないかと思います。背後にそびえる皿倉山や、洞海湾・関門海峡などの自然景観をバックに多様な建築が建てられてきたが、明治以降の近代化の流れの中で国家を支える製鉄業などに対して集中的に多大な投資が行われるに際して、建築物にも新しい建築技術が積極的に導入された結果、さまざまな近代建築の実験場の様相を呈していた。

小倉では、城下町としての都市構造の上に軍都が形成され、門司港では大陸への玄関口として先進的な建築が建てられ、八幡では製鉄業に関連して企業の本社機能にふさわしい重厚な建物が、若松では港湾物流に関する近代的な建築群が建てられた。同じ地域にこれほど多様な建築群が集結している都市は珍しいのではないかと考える。

近代以降の戦後期には村野藤吾が民主主義社会のなかでの市民のための建築を市民会館や銀行建築で模索し、高度成長期には磯崎新が伝統にとらわれない抽象的な幾何学を用いた図書館や美術館を設計した。しかし村野も、磯崎も、その建築手法にかかわらず、北九州の自然景観に呼応してそのデザインの根拠としている。村野の八幡市民会館とひびき信用金庫本社ビルは八幡駅からの緩やかに上昇しながら皿倉山に伸びる軸線道路も建築を構成する大切な要素であり、磯崎の北九州市立美術館は工業地帯を望む高台への急斜面が中央ホールの吹き抜けのプロローグとなっており、ほかの地では代替不能な唯一無二性を有する。

若戸大橋は、土木構築物であるが、ケーブルによる吊構造という先進的な構造形式は、その構造を成立させる鉄鋼業がこの地に栄えていなければ、おそらく試みられなかったのではないかと考える。

北九州の都市基盤と地形が生み出した建築群はぜひ実地で見ていただきたい。



日本近代産業の発展の一翼を担ってきた北九州市。

この都市には、世界遺産や文化財、近代化産業遺産等、評価の高い魅力ある建築が数多く存在します。今回、市内の魅力ある建築や景観について、時代と場所を切り口として、写真を中心に紹介する冊子を作成しました。

これをきっかけに、建築がもつ物語や都市の歴史について認識を深め、まちを楽しむ建築巡りをしてみませんか。

北九州市の建築 年表	1	1990年代以降	
		リバーウォーク北九州	31
1600年代頃～1800年代頃		夜景	39
小倉城	3	北九州市の建築 位置マップ	43
1800年代頃～1950年代頃			
門司港駅	7		
辰野金吾氏による建築群	22		
1950年代頃～1990年代頃			
若戸大橋	23		
磯崎新氏による建築群	27		
村野藤吾氏による建築群	30		

凡例























































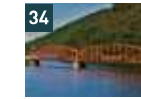
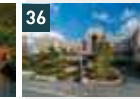
























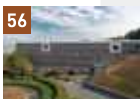
番号(年表と位置マップに対応)

00 2020年3月現在の名称(竣工時の名称)

所在地/建物などがある場所

竣工/完成した年 設計/設計者・設計事務所・設計会社

北九州市の建築年表

西暦年	1600	1700	1800	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020		
時代区分	1600年代頃から1800年代頃			1800年代頃から1950年代頃					1950年代頃から1990年代頃				1990年代以降					
				1868 明治元年	1912 大正元年		1926 昭和元年		1963 五市合併				1989 平成元年	1990年代以降				
																	2019 令和元年	
門司区				24  部埼灯台 1872	11  JR門司港駅 1914	26  ニッカウエスキー(株) 門司工場 倉庫/1916	23  旧大連航路上屋 1929	22  北九州銀行門司支店 1934	19  旧JR九州本社ビル 1937		51  世界平和パゴダ 1958			63  プレミアホテル門司港 1998				
				25  九州鉄道記念館 1891	15  旧門司税関 1912	13  旧大阪商船 1917	16  門司電気通信レトロ館 1924	21  門司区役所 1930		49  門司ゴルフ倶楽部クラブハウス 1960			65  関門海峡ミュージアム 2003					
				27  旧サツポロビル 九州工場 醸造棟/1913	14  旧門司三井倶楽部 1921	18  門司港涼山亭 1925~1934	17  門司郵船ビル 1927	20  三宜楼 1931		50  ホーム・リング商会 1962			64  門司港レトロハイマート 1999					
小倉北区	1  小倉城 1609 (推定)			41  BLUE BLUE KOKURA 1890								57  中央図書館・文学館 1974	58  西日本総合展示場 1977	69  粟川タウン・マイラー 1990	70  小倉城庭園 1998	71  松本清張記念館 1998	73  勝山公園周辺 2006	75  ミニワールドスタジアム 北九州/2017
	2  広寿山福聚寺 1665			42  森鷗外旧居 1897 頃										59  北九州国際会議場 1990	72  北九州メテアドーム 1998	62  リバーウォーク北九州 2003	74  TOTOミュージアム 2015	
小倉南区	4  大興善寺 山門 1671	3  蒲生八幡神社 本殿 1763				38  春吉の眼鏡橋 1919							52  都市モノレール小倉線 1985	67  北九州市立大学本館 1995	68  小倉競馬場 1999	66  北九州空港旅客ターミナルビル 2006		
若松区				30  石炭会館 1905	29  上野ビル 1913	33  料亭金鍋 本館、表門 1917 頃	28  旧古河鉱業若松ビル 1919	32  朽木ビル 1920	31  火野葦平旧居「河伯洞」 1940		48  若戸大橋 1962							
八幡東区				5  九州鉄道茶屋町橋梁 1891	35  官営八幡製鐵所 旧本事務所/1899	47  旧百三銀行八幡支店 1915	34  南河内橋 1926	36  大谷会館 1927		61  旧八幡市民会館 1958	54  東田第一高炉跡 1962	60  福岡ひびき信用金庫本店 1971	78  九州ゴルフ倶楽部 1992	76  国際村交流センター 1993	77  いのちのたび博物館 2001			
八幡西区	6  堀川運河 1762	7  旧高崎家住宅 1835	10  廣旗八幡宮 本殿 1842	37  折尾愛真学園記念館 1909						53  安川電機歴史館 1954			79  ホテルクラウンパレス 北九州/1989	82  長崎街道木屋瀬宿 記念館/2000			80  安川電機みらい館 2015	
		8  寿命の唐戸 1804	9  立場茶屋銀杏屋 1837															
戸畑区				44  九州工業大学 正門 1909	46  九州工業大学 正門守衛所 1909	45  西日本工業倶楽部 洋館/1912	40  旧安川邸 大座敷 1912	39  戸畑図書館 1933	43  ニッスイ戸畑ビル 1936		48  若戸大橋 1962	56  北九州市立美術館 本館/1974	56  北九州市立美術館 アネックス/1986					